# りーぶるだより

藤里町三世代交流館　図書室
でんわ　79-1327（内線342）

★利用できる時間は
平日…午前10時～午後6時
土・日・祝祭日
…午前9時15分～午後6時
※土・日・祝祭日は、午後0時から午後1時のあいだは、一時休みます。

★図書は、ひとり5冊まで、14日間までかりることができます。

## 子育て支援コーナーをご利用ください！

図書室では、交流館一階「おやこのえほんルーム」に、育児に関する本を展示・貸出しております。
離乳食のこと、しつけのこと、病気のこと、わが子に作ってあげたい洋服・小物の本などなど、子育て世代にお役立ちの情報があります。

「いとく」からの帰り道に、どうぞお立ち寄りください･･･

図書室とは別のスペースですので、小さいお子さん連れでも気兼ねなくご利用いただけます。
お子さんに読んであげる絵本を探しながら、どうぞ足を運んでみてください。

★　☆　★　☆　★　☆　★

## ハロウィーンの絵本好評貸し出し中です

10月末日は、日本でもすっかりお馴染みになった「ハロウィーン」です。
図書室カウンターそばには、ハロウィーンにちなんだ魔女やクロネコ、コウモリなどが登場する絵本をたくさん用意しています。
秋の夜長に、ご家族一緒に楽しんでみてはいかがでしょう？

## 「めくる めくる 本の世界」

～秋の読書週間が始まります～

終戦まもない1947（昭和22）年、まだ戦火の傷痕が至るところに残っているなかで「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社・取次会社・書店と公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって、11月17日から、第1回『読書週間』が開催されました。
そのときの反響はすばらしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心にした2週間）と定められ、この運動は全国に拡がっていきました。
そして『読書週間』は日本の国民的行事として定着し、日本は世界有数の「本を読む国民の国」になりました。
いま、電子メディアの発達によって、世界の情報伝達の流れは、大きく変容しようとしています。しかし、その使い手が人間であるかぎり、その本体の人間性を育て、かたちづくるのに、「本」が重要な役割を果たすことはかわりありません。
暮らしのスタイルに、人生設計のなかに、新しい感覚での「本とのつきあい方」をとりいれていきませんか。

（読書推進運動協議会HPより抜粋）

## 新しく入った本

■秋田県民の謎
秋田がさらに好きになるオモシロ話57
ご当地探偵事務所
■守農太神と呼ばれた男　小説　安藤昌益
伊沢　芳子
■トコトンやさしい環境汚染の本
大岩敏夫ほか//著
■保険は今より６割安くできる！
都倉　健太
■明日からおしゃれ上手になる！
石田純子のストールの巻き方選び方
主婦と生活社
■アイネ・クライネ・ナハトムジーク
伊坂幸太郎
■フォルトナの瞳　百田尚樹
■私家本　椿説弓張月　平岩弓枝
■一人っ子同盟　重松　清
■神様の裏の顔　藤崎　翔

### ティーンズ

□土木女子！　清文社
□消防官になる本2015-2016　イカロス出版
□中学生　中間・期末テストの勉強法
実務教育出版
□鹿の王　上・下　上橋菜穂子
□ここはボツコニアン４　宮部みゆき

### 子どもの本

□一人前になるための家事の図鑑
岩崎書店
□どろぼうのどろぼん　斉藤　倫
□おはなしきょうしつ　さいとうしのぶ
□なきむしオバケ５つのおはなし　文溪堂

11月1日は
**県民読書の日**です!!